
力を背負いし者

草薙 護堂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

力を背負いし者

【Nコード】

N1616Y

【作者名】

草薙 護堂

【あらすじ】

主人公が突然異界に飛ばされ、がんばって生きていくお話です。処女作なので、駄文や乱文はご勘弁ください。

また、主人公最強ものとなります故、苦手な方は読まない事をお勧めします。

では、「力を背負う者」をお楽しみください。

エピソード 01 知らぬ間に・・・ (前書き)

がんばります。

エピソード 01 知らぬ間に・・・。

いきなりだが・・・。

ココハドコデシヨールカ？

はい。

迷子じゃないですよ。

なんてったって、俺寝てましたから。

布団に入って意識を手放す直前までは覚えてますから。

はっ！？

もしや、これがうわさのトリップとやらか！？

「にしたって・・・寝てる間に飛ばさなくても・・・。」

『ども〜。』

は？

今俺の周りには誰もいないし幻聴だろうか？

『幻聴じゃないよ〜。』

「誰だっ！？」

某物語の『嘘だっ!!』ばりに力が入ったぜ。

『ん〜?君を飛ばした者といっておこつか?』

「なっ!?!」

なんで俺やねん。

『なんでって聞かれても・・・。』

答えられないならきかねえよ。

『どもww』

笑うんじゃねえよ・・・。

・・・。

・・・。

・・・。

って心読まれてるうー!

『今更かよ・・・。』

うん。

今気付いた。

『とにかく、君には能力とかあげたから。それでどうにかして。』

使い方くらい教えろや。

『大丈夫。君の脳内に説明書みたいな植えつけたから。』
なるほどなるほど・・・つて、ええっ!?

『じゃあ、そういうことで・・・。』

ちよっ! まっ! おまっ! !!!

・・・。

返事がない・・・。

なっ! !! !!

ほんとに置き去りかよ・・・。

現状確認。

自分の肉体へのダメージ・・・なし。

自分の精神へのダメージ・・・測定不能。

場所・・・分らんけど、たぶん森。

「これからどうしよう……。」

「いや……。」

何か聞こえたような気がする。

とりあえず人がいるならいいや。

いってみよ。

エピソード 01 知らぬ間に・・・（後書き）

ご意見、ご感想をお待ちしております。

てか、チートって……

とりあえず声の主はあれだろう。

何故かは知らんが、10kmくらい先まで見える。

あいつの能力とやらだろうが……。

周りにいるのは……。

ただの盗賊^{カス}か。

助けなきゃいけないんだろうけど……。

近づくのもめんどくさいしなあ……。

説明書を見てみるか。

解説書

能力の使用方法。

イメージせよ。

以上。

「何じゃこりゃあああああああ！！！！」

こんなもんで分かるかよっ！？

これはあれか！？

新手の虐めか！？

もういい！

やってみる！

俺の信条は『習うより慣れろ』だからな。

魔法とか使えるのかな？

やってみよ！

詠唱も一応やってみよ。

厨二になるのは目に見えてるけどな！

「其は遙より届く星の光。未来永劫費えることのない永久の光源なり。」

いきなり厨二wwww

いけないいけない。

イメージっと。

何か手に漆黒の光？が……。

「其の大なる光を我の手にたたえ、敵を殲滅せよ。星天スターブレイクの裁き！」

刹那、収束した魔力が発射される。

「何か出たああああああ!!」

その光はまっすぐ進み……。

後ろの山に当たった。

ドゴッ……!!!!!!

とんでもない爆風が帰ってきた。

煙が晴れると……。

……山がない。

「ははは・・・やったあ・・・。」

チートだな。

何か盗賊たちが騒いでる。

山が消し飛んだわけだしなww

それにしてもコントロールしにくいな。

某アニメに出てくるやつ作っとくか。

「創造。形状：インテリジェントデバイス。用途：魔力の管制及び使用。」

すると手に『な○は』の『レイジ○グハ○ト』みたいなのが・・・。

まあ形は違うが。

でも俺英語の成績悪いからわからな・・・。

『始めまして。マイマスター。』

「日本語おおおおおおお!!!!」

マ・ジ・で・かつ？

まあ今はいいや。

とりあえず名前名前・・・。

『私は【ウラノス】。』

ウラノスって・・・。

まあ細かいことは気にしない。

「行くぞウラノス！」

『モード反転。OK, MY MASTER.』

今わ思いつかないから『なの○』の技を借りる！

『Shooting Mode』

「デイベインシューター！」

『Divine Shooter』

「シュート！」

大量の黒色をした魔力の玉が忘れられていた盗賊（笑）に向けて飛んでいく。

そして、狂いなく着弾し数人を弾き飛ばす。

「なんだ!？」

お〜お〜。慌ててらあ。

じゃあ行きますか。

「ウラノス。」

『Fling Fome』

すると背中から魔力と同じ色をした翼が。

そして一気に接近した。

10kmあった距離がたった100m程度に。

「何だあいつは!?!」

こいつらと話すつもりはないので。

「ウラノス。」

『OK』

「デイベイン・・・。」

『Divine Buster』

「バスター!!」

そしてこの一閃により戦闘という名の殺戮^{そうじ}行為は終わった。

ただの主人公の人物紹介なのよ（前書き）

忘れてました。

主人公の名前出てませんでしたね。

ただの主人公の人物紹介なのよ

人物紹介です。

まだ主人公だけですが、随時追加していききたいと思います。

かくらさか
神楽坂 春尋 はるひろ

この物語の主人公。

なぜか睡眠中に異世界に飛ばされる。

飛ばされた目的は全く持って不明。

純潔の日本人だが、瞳の色はほぼ金色。

髪の色は日本人らしく黒色。

典型的なアスリート体系だが、スポーツは体育以外でしたことがない。

十人中十人が振り返るルックスでファンクラブも存在したほど。

女子からの人気は高いが、本人が驚くほど鈍感なため周りの人間は困っている。

性格：相手によるが基本的にはN ノーマル

職業：高校一年生 冒険者

能力：なんでもありのチート

武装：今はウラノスというインテリジェントデバイス。

ただの主人公の人物紹介なのよ（後書き）

どうでしょう？

まあ随時追加します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1616y/>

力を背負いし者

2011年11月20日02時09分発行